

大切な命を守るために

豪雨災害に備えよう

近年、台風や豪雨による災害が多発しています。もしもの時に慌てないために、日頃からできる備えを確認しましょう。

水害被災地で救助活動に携わった人に聞く 災害への備え



久留米広域消防本部
新留さん

令和5年梅雨前線豪雨時に救助隊として活動しました。災害はいつでも発生してもおかしくありません。災害から命を守るには、**日頃からの備え**と**地域の住民同士のつながり**が重要です。

日頃からハザードマップで自宅周辺の災害リスクを把握しておき、家族や地域で避難場所・ルートを確認、非常時の役割分担を話し合みましょう。

災害が起こったら近所の皆さんとも助け合い、早めの避難を心がけましょう。



▲令和5年梅雨前線豪雨被災地での救助の様子
新留さんは土砂等の流入により倒壊した建物からの救出活動などに従事

Pick up!

日頃からできる備え

- 浸水想定区域や避難場所を確認
- 警戒レベルに合わせて、マイタイムライン(行動計画表)を作成
- 非常用持ち出し品・備蓄品を準備し、定期的にチェック
- 家の周りの点検整備
 - 排水路などにゴミが詰まってないか確認
 - 外壁や瓦にひび割れやズレがないか確認

普段使いのものが役に立つ!

日常と非常時の境目をなくして、日頃から災害に備える考え方を「フェーズフリー」といいます。例えば、モバイルバッテリー、自転車用ヘルメット、キャンプ用品などは、普段使いしながら、災害時にも役立つアイテムです。

他にも、食料や日用品を「ローリングストック※」で使いながら備蓄する方法がおすすめです。

防災のために特別なものを備えるのではなく、日常生活で利用しているもので備えを行うことができるため、手軽に始めることができます。



※日頃から食料や日用品を少し多めに購入し、使った分を補充しながら日常的に備蓄すること

防災アプリ

ふくおか防災ナビ まもるくん

梅雨時期に備えて、ぜひご活用ください。

確認できること

- ・浸水想定区域や避難場所
- ・マイタイムラインの作成例
- ・便利な備蓄品
- ・リアルタイムの河川の様子など



⚠ 避難のタイミング ⚠

大雨や土砂災害、洪水の危険が予測される際に、避難するタイミングの目安となる5段階の警戒レベルが発表・発令されます。早め早めの行動を心がけましょう。



警戒レベル	とるべき行動
5 緊急安全確保	命の危険! 直ちに安全確保
警戒レベル4までに必ず避難	
4 避難指示	危険な場所から全員避難
3 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難
2	自らの避難行動を確認
1	災害への心構えを高める